

LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ ファンド〈愛称：アメリカンパワー〉

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第12期(決算日2018年7月23日)

作成対象期間(2017年7月25日～2018年7月23日)

第12期末(2018年7月23日)	
基準価額	29,076円
純資産総額	157百万円
第12期	
騰落率	20.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド〈愛称：アメリカンパワー〉」は、2018年7月23日に第12期の決算を行いました。

当ファンドは、元本の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

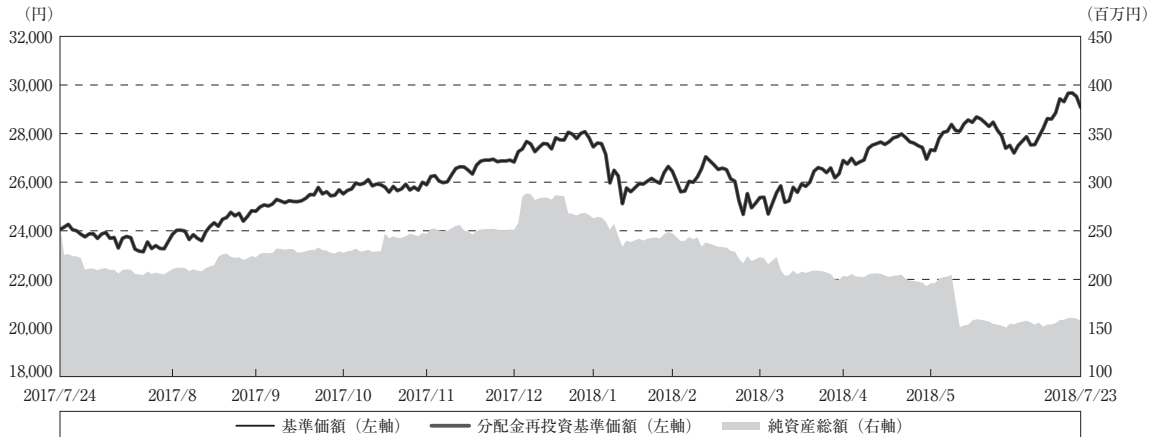
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年7月25日～2018年7月23日)



期首：24,051円

期末：29,076円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：20.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2017年7月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期末(2018年7月23日)のLM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド(以下、当ファンド)の基準価額は29,076円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラス20.9%、基準価額は5.025円上昇しました。

米国株式相場の上昇を背景に、株式要因がプラスとなりました。為替要因による基準価額への影響は大きくありませんでした。

1万口当たりの費用明細

(2017年7月25日～2018年7月23日)

項 目	当 期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	462	1.777	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(238)	(0.915)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(210)	(0.808)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(14)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.020	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
(株 式)	(5)	(0.020)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	1	0.002	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.002)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	175	0.672	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(160)	(0.614)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(5)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	(8)	(0.032)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0.009)	権利配当処理に伴う費用
合 計	643	2.471	
期中の平均基準価額は、25,979円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

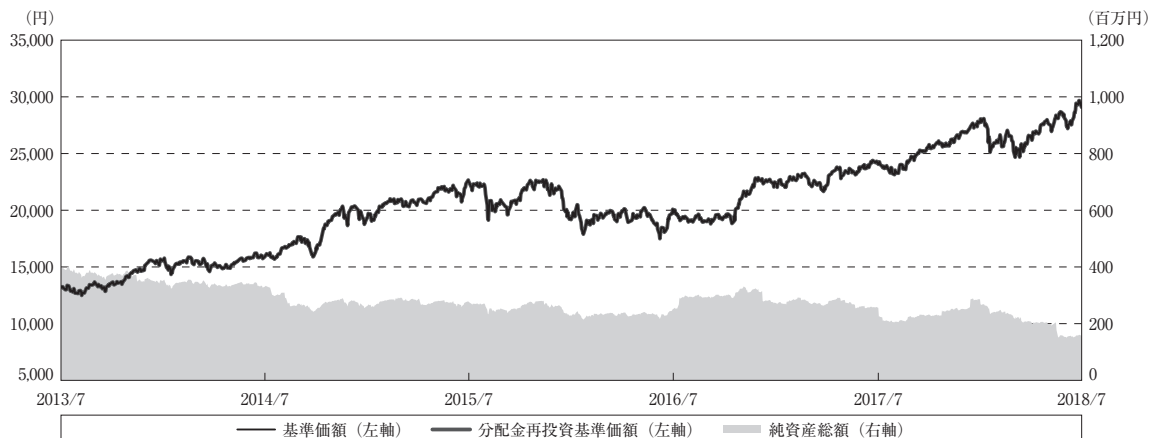
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年7月22日～2018年7月23日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2013年7月22日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年7月22日 決算日	2014年7月22日 決算日	2015年7月22日 決算日	2016年7月22日 決算日	2017年7月24日 決算日	2018年7月23日 決算日
基準価額 (円)	13,263	15,910	22,484	19,779	24,051	29,076
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	20.0	41.3	△ 12.0	21.6	20.9
純資産総額 (百万円)	397	330	276	251	255	157

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

投資環境

(2017年7月25日～2018年7月23日)

① 米国株式市場の動向

当期の米国株式相場は、上昇しました。期の前半は、米国景気の緩やかな拡大が続く中、株価は上昇しました。米国議会での予算決議案の可決を受け、米税制改革の審議が進むとの観測が強まったことも、株価を押し上げる要因となりました。期の半ばは、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げが緩やかなペースで進むとの見方が広がったことなどから、株価は上昇しました。さらに、米税制改革法案が成立し、米国景気の刺激効果が意識されたことなどから、株価は上値を伸ばす展開となりました。しかしその後は、FRBによる利上げ加速の思惑が浮上し、米国国債利回りが急上昇したことから、株価は一時大きく下落しました。期の後半は、米政権による保護主義的な通商政策を受けて、米中貿易摩擦への警戒感が高まったことなどから、株価は上値の重い展開となる場面が見られましたが、米国景気の堅調さが意識される中、底堅く推移しました。

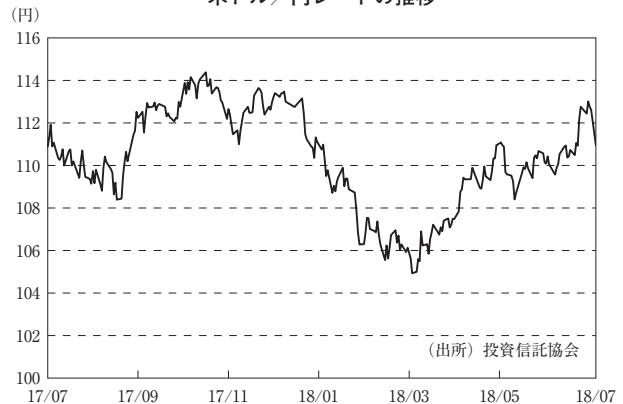
米国S&P500指数の推移



② 為替市場の動向

当期の米ドル・円相場は、前期末比ほぼ変わらずとなりました。期の前半は、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを受けてリスク回避姿勢が意識されたことから、米ドル売り・円買いが先行しました。しかしその後は、トランプ米政権による税制改革案の公表を受けて、米国景気が刺激されるとの観測が高まったことなどから、米ドルは対円で反発しました。期の半ばは、日銀が量的緩和縮小に向かうとの思惑が浮上したことや、米財務長官が米ドル安を歓迎する意向を示したことなどから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。さらに、米国株式相場が急落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、米ドル売り・円買いが強まりました。期の後半は、米インフレ圧力の強まりが意識されたことなどから、米ドル買い・円売り優勢の展開へと転じました。さらに、米国国債利回りの上昇を受けて日米金利差が拡大したことから、米ドル買い・円売りが強まりました。その後、米ドルは対円で伸び悩む場面もありましたが、FRBによる利上げ加速の可能性が意識されたことなどもあり、上昇傾向を維持しました。

米ドル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2017年7月25日～2018年7月23日)

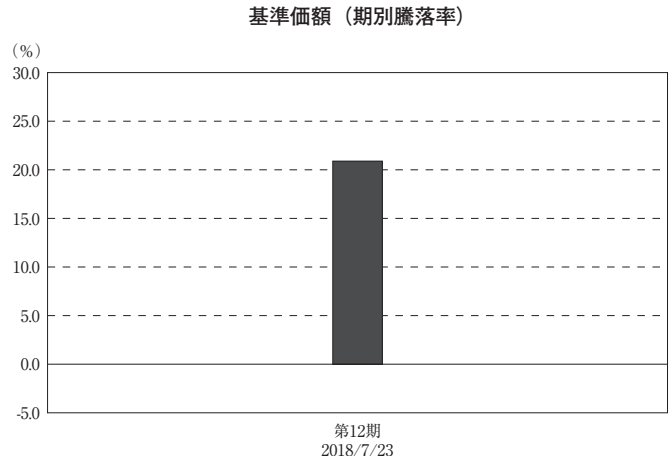
当ファンドは、主に「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、魅力的な成長が見込める米国の大型成長株を中心に銘柄数を絞り込んで投資することにより、元本の長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期の運用においては、大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、経営能力が高く、長期にわたり競争力上の優位を維持できると期待される成長企業を発掘することにより、ポートフォリオの構築を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年7月25日～2018年7月23日)

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2017年7月25日～2018年7月23日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第12期
	2017年7月25日～ 2018年7月23日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	19,075

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、米国企業の大型成長株を中心に投資を行うファンドです。今後も、市場環境を注視しながら、投資魅力度の高い銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

お知らせ

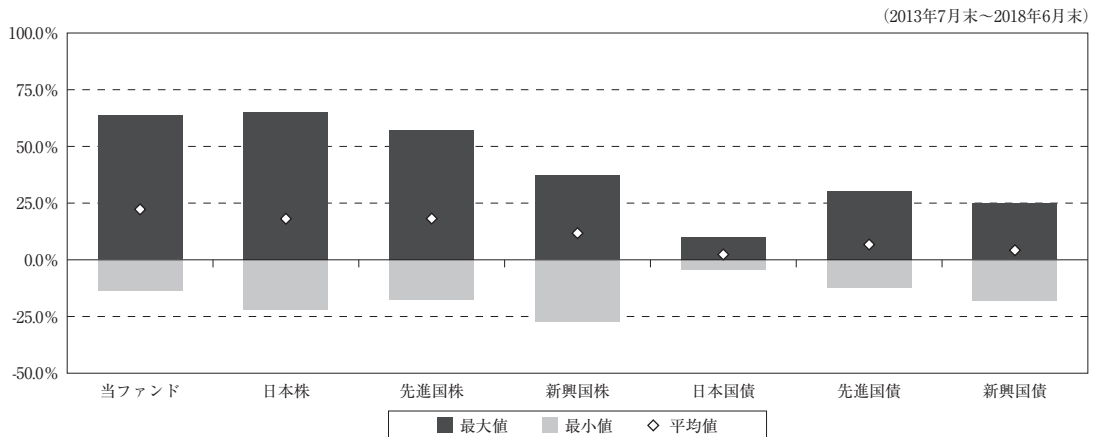
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	主として魅力的な成長が見込めると判断する大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指します。	
主 要 投 資 対 象	当 フ ァ ン ド	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資する場合があります。
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	主として米国に所在する企業の発行する株式を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	決算日（原則として毎年7月22日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	63.9	65.0	57.1	37.2	10.1	30.4	25.1
最小値	△ 13.8	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	22.2	18.1	18.2	11.7	2.3	6.7	4.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年7月から2018年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

* 各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

日本国債：FTSE 日本国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：FTSE 新興国市場国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します (TOPIX: 株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックス: MSCI Inc、FTSE 日本国債インデックス、FTSE 世界国債インデックス、FTSE 新興国市場国債インデックス: FTSE Fixed Income LLC)。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年7月23日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第12期末
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	101.2%
組入銘柄数	1銘柄

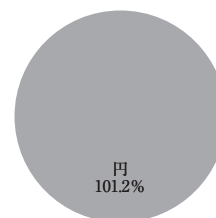
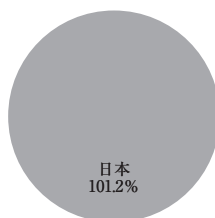
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第12期末
	2018年7月23日
純資産総額	157,332,198円
受益権総口数	54,110,876口
1万口当たり基準価額	29,076円

* 期中における追加設定元本額は38,698,557円、同解約元本額は90,841,409円です。

組入上位ファンドの概要

LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2017年7月25日～2018年7月23日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年7月25日～2018年7月23日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株証券式)	6 (6)	0.020 (0.020)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税 (株証券式)	1 (1)	0.002 (0.002)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用 (保管費用)	197 (195)	0.620 (0.611)
(その他)	(3)	(0.009)
合計	204	0.642

期中の平均基準価額は、31,825円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年7月23日現在)

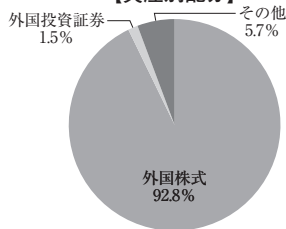
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
				%
1 AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス	米ドル	アメリカ	6.3
2 MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	4.0
3 VISA INC-CLASS A SHARES	情報技術	米ドル	アメリカ	3.5
4 FACEBOOK INC-A	情報技術	米ドル	アメリカ	3.3
5 ALPHABET INC-CL C	情報技術	米ドル	アメリカ	3.2
6 ADOBE SYSTEMS INC	情報技術	米ドル	アメリカ	3.1
7 UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア	米ドル	アメリカ	2.9
8 AKAMAI TECHNOLOGIES	情報技術	米ドル	アメリカ	2.4
9 HOME DEPOT INC	一般消費財・サービス	米ドル	アメリカ	2.3
10 RED HAT INC	情報技術	米ドル	アメリカ	2.3
組入銘柄数			48銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

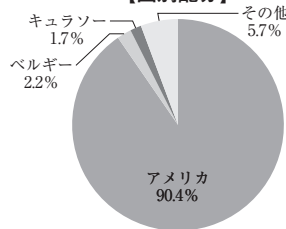
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

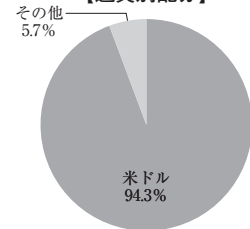
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産(現金等を除く)の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産(現金等を除く)を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。